

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



4

2014
No.306

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

ぎょれん中期的事業推進方向と
平成26年度事業計画 ー 前編 ー



留萌管内お魚普及協議会が 旭川で親子料理教室を開催



子ども達も積極的に浜のおかあさんたちと一緒に調理に参加しました

2

月22日(土)、旭川市ときわ市民ホールにおいて、留萌管内お魚普及協議会が、市民団体「旭川・魚をもっと食べよう会」と共催して、親子料理教室を行いました。今回講師を務めたのは北るもい漁協初山別山別女性部の5人の皆さん。管内の主要な水揚げ魚種であるはたてや甘えびを使ったレシピに加え、初山別特産の真ふぐを使った料理も紹介しました。

会場には旭川市内の幼稚園から小学校までの子ども16人とその保護者が集まり、浜のおかあさんと旭川・魚をもっと食べよう会の皆さんと一緒に「はたてのチリソース」「甘えびとチーズのミニ春巻き」「ふぐの照り焼き丼」「ふぐのあら汁」の4品を調理し、試食しました。「ふぐの照り焼き丼」は初山別で獲れる真ふぐを使い、道の駅や市内の飲食店5軒でも提供されるイチオシのB級グルメです。少しアレンジを加えた今回の「ふぐ照り焼き丼」も参加した大人から子どもまで、皆さんに好評でした。

一昨年に続き2回目となるこの親子料理教室は、留萌管内お魚普及協議会の活動を紹介する新聞記事を見た、旭川・魚をもっと食べよう会の石井さんが、ぎょれん留萌支店に電話をかけたことがきっかけで始まりました。浜のおかあさんは「ご縁を大切にしたいですね。」と嬉しそうに話してくれました。



おいしそうに「ふぐの照り焼き丼」をほおばる子ども達

【うみ・なかま コミュニケーション】

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
April 2014 No.306

4

浜の元気印!

01 留萌管内お魚普及協議会が旭川で親子料理教室を開催

特集1

02 ん中期的事業推進方向と平成26年度事業計画ー前編ー

浜の家族物語

09 寿都町漁協/佐藤 仁さん ご家族

特集2

10 平成25年度 全道漁協トップセミナー

12 頭すっきり!! ブレイクタイム

13 なみまるインフォメーション

14 全道漁協購買事業推進会議が開催されました

協同の力でコスト削減

15 系統ブランド資材紹介コーナー

大漁祈願!

16 浜のほっとニュース

みなさんのお便りでつくるページ

17 なみまる おたより箱

表紙の写真

寿都町漁協/佐藤 仁さんご家族です。



春を待ちわびる3月の寿都湾

特集 SPECIAL

ぎょれん中期的事業推進方向と 平成26年度事業計画ー前編ー



ぎょれん 西副会長

平成26年度が始まりました。今月と来月の2号にわたり、ぎょれんの「中期的事業推進方向（平成26～28年度）」と、「平成26年度事業計画」をご紹介します。

今月は「中期的事業推進方向」と「平成26年度事業計画」のうち「漁政・指導事業」関連を、来月は「平成26年度事業計画ー後編ー」として、「販売事業」「購買事業」等の計画をお伝えします。

中期的事業推進方向の 基本的考え方

本会は、平成23年度を始期とする3力年の中期的事業方針を策定し、浜の皆さんとともに各種事業の推進にあたってきました。

この3力年を顧みると、東日本大震災の復興・復興、福島原発風評被害対策のほか、リーマンショック後の世界的な経済不況による長引くデフレ不況、急激な為替変動にも直面し、TPP貿易自由化問題、燃油異常高騰、韓国の水産物輸入規制問題等、本道漁業にとっては次から次と難題が立ちあがる、まさに「激動・激変」の3力年でありました。

こうしたなか、本道漁協系統として組織が一丸となり、総力を挙げて諸課題の解決にあたってきたところです。

水産物の流通については、国内消費の低迷・魚価安に見舞われるなか、グローバル（国際化）戦略の強化、ネットワークづくりを中期的事業方針の重点スローガンに掲げ、関係団体等との連携による国・内外流通対策を強力に推進してまいりました。

漁政活動においては、立ちあがる諸課題解決に組織を挙げて取り組み、我が国の水産政策の基本となる新水産基本計画の策定にあたり、本道漁業の立場から意見反映に努めたほか、浜を襲った燃油高騰問題に対しても、全国の漁協系統組織力の結集により、画期的な燃油高騰特別対策の実現をみるなど、浜を

守るための運動展開によって一定の成果をあげることができました。

迎える次期の中期的事業推進方向期間（平成26年度～28年度）を展望すると、近年急激な勢いでグローバル化が進展するなか、本道漁業を取り巻く内外環境は、生産段階から加工・流通消費に至る各分野で依然として諸課題が山積しています。

比較的安定して推移してきた本道の漁業生産量は、ここきて伸び悩みを見せており、加えて水揚げの地域間格差が拡大・構造化する傾向にあるため、中長期的展望に立った漁業資源の生産回復に向けた取り組みが喫緊の課題となっています。

また、生産者の高齢化・後継者不足問題のほか漁船老朽化対策など懸案となっている構造的な諸課題への対応も急がれます。

産地加工の経営環境も厳しさを増しています。産地市場の買受機能の低下が進んでいるなか、魚価・処理対策の強化に向けた漁協系統としての鮮魚・加工対策の更なる拡充を図る必要があります。

消費環境に目を転じると、国内の水産物消費は減少傾向に歯止めがかからず魚離れが続いています。消費税増税による消費への影響も危惧され、消費円滑化対策とともに関連業界を挙げた魚食復権に向けた取り組みが一段と重要となっています。

一方で、世界的な水産物の消費は増加の一

途をたどっており、国・内外の消費構造の2極化が進む傾向にあります。

国内消費の安定確保に向けた取り組みを強化すると共に、道産水産物の強みを活かした海外市場開拓の重要性が増しており、国の輸出拡大方針に呼应し需給調整機能としての輸出促進対策を戦略的に進めていく必要があると考えています。

購買活動においては、燃油価格が高止まりするなか、関連漁業資材価格の上昇による漁業コスト増が懸念され、良質廉価な商品供給等の強化が必要です。

指導・漁政活動においては、貿易自由化問題・原発災害対策への的確な対応、資源の維持管理、環境保全対策を含め諸課題が山積しています。

これらの解決に向けては自助努力を基本としながらも、国の食糧基本政策の一環として位置付けた中での各種施策実現に向けた取り組みを継続し、強化していく必要があります。

本道漁協系統組織は一昨年、記念すべき第50回全道漁協組合長会議において「強い北海道漁業の確立」を目指すことを満場一致で特別決議しました。

平成26年度から始まる新たな中期的事業推進にあたっては、本道漁業の更なる発展のため、指導・経済連合会として浜との連帯を更に強化し、各種課題に果敢に挑戦し実現を目指すてまいります。

本会・本道漁業を取りまく環境の「機会」と「脅威」

機会

〈海外〉

- 世界的な水産物需要の増大
- 世界的な天然資源の頭打ち
- 海外における「天然」「北海道ブランド」の価値向上
- 海外における日本食ブーム、日本食文化（和食）の世界遺産登録
- 水産物の貿易自由化の流れ加速
- 国策による輸出の促進
- 輸出関連魚種を主体とした魚価の上昇

〈国内〉

- マーケットの変化（価格の二極化・ニーズの多様化）
- 高まる北海道の水産食糧基地としての役割
- 資源管理型漁業の定着・拡大による供給の安定化
- ニシン等の新たな増殖事業の成果
- 南方系魚種の水揚げ増加
- 北海道漁協系統の組織結集力
- 円安を受けた輸出環境の好転

脅威

〈漁業環境〉

- 福島原発事故に因る汚染水の放出・流出問題
- 気候変動等による漁業・魚種への影響（含む有害生物被害）
- 前浜資源の減少、地域間格差の拡大
- 漁業生産者の減少、高齢化、後継者不足
- 漁業コストの上昇等による漁業経営の悪化
- 水産加工業者の経営環境悪化（原料・労働力確保・設備投資等）
- 組合員の協同組合運動意識の希薄化

〈経済環境〉

- 福島原発事故に因る被害長期化
- 世界経済の不安定化と為替変動のリスク
- 水産物の貿易自由化の流れ加速
- 国内マーケットの縮小（高齢化・人口減少・魚離れ）
- 社会の変化に伴うマーケットの多様化
- 長期化したデフレの影響が残る消費者の低価格指向
- 物流環境悪化によるコストの増大（輸送、保管）
- 円安による燃油・漁業資材の負担増

販売部門

- | | |
|-----------------------|--|
| 1.産地市場の魚価・流通対策の拡充 | (1)国内外に向けた多角的な鮮魚加工流通ネットワークの拡充と拡大
(2)地域基幹魚種対策の推進 |
| 2.漁協・グループ工場における加工機能強化 | (1)漁協工場、協力会社、関連会社との組織的連携による機能の強化
(2)フードディフェンス(※)・品質・衛生管理水準の高度化 |
| 3.国内向け製品販売の取り組み強化 | (1)多様化するマーケットに対するマーケティング並びに商品開発機能と販売体制の強化
(2)「中食」(※)分野を中心としたターゲット戦略の再構築と営業活動の強化
(3)販売戦略と連動した効果的な販促の強化 |
| 4.海外輸出事業の取り組み強化 | (1)海外販路における重点販売先との取り組み強化と、更なる輸出相手国及びパートナーづくりの推進
(2)会員、関連会社と一体となった輸出機能の強化
(3)輸出品目の拡大(原料から加工製品)
(4)EU向け輸出環境整備と販促の強化 |
| 5.品目別販売戦略の強化 | (1)関連団体等との連携による基幹品目の国内外での加工・販売対策の推進
(2)一般魚種の生鮮流通から原料・加工製品に至るまでの加工・販売対策の更なる拡充 |

※フードディフェンス…食品への意図的な異物の混入を防止する取り組み。
※中食(なかしょく)…家庭に持ち帰り消費されることが多い惣菜・弁当などの家庭外調理済み食品のこと。家庭内で調理・消費される「内食」、家庭外で調理・消費される「外食」の中間に位置するという意味でこのように呼ぶ。

購買部門

- | | |
|----------------------|--|
| 1.系統燃油事業の更なる強化 | (1)適正価格による安定供給に向けた取り組みの継続
(2)長期的視野に立った計画的な共有タンク再編整備 |
| 2.営漁コストの削減に向けた取り組み強化 | (1)生産体制の見直しによる良質低廉な系統ブランド資材の開発強化
(2)ぎょれんマリノサポート(株)と連携した系統ブランド資材の組織的営業活動の強化
(3)系統ブランド資材評価委員会等による浜との連携強化 |

経営部門

- | | |
|-----------|--|
| 1.経営基盤の強化 | (1)コンプライアンス経営の推進
(2)計画的な内部留保による財務基盤の強化と会員配当の継続
(3)計画的な固定資産老朽化対策推進と設備投資の実施
(4)経営リスクの管理強化 |
| 2.組織・人材 | (1)人づくり(効果的な人員配置と育成による生産性の向上)
(2)関連会社との人的交流促進による人材育成の実施 |
| 3.グループ会社 | (1)一体的経営の推進と機能強化
(2)グループ経営基盤の強化を目的とした事業再編の実施 |

中期的事業推進方向

基本方針

『強い北海道漁業の確立』への挑戦

重点政策

1. グローバル戦略の進化と成長
2. 「選択と集中」による事業展開
3. コンプライアンス経営の強化

中期的事業推進方向 部門別重点方針・政策

指導部門

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1.資源の持続的利用促進並びに資源増大への取り組みの強化 | (1)会員、関係団体、行政と連携した資源増大への取り組み強化
(2)資源管理対策の強化 |
| 2.漁業経営の安定を目的とした政策提言と実現化に向けた取り組みの強化 | (1)貿易自由化問題に対する的確な対応
(2)浜の活力再生プランへの取り組み
(3)燃油高騰対策への組織的取り組み強化
(4)生態系の多面的機能発揮に向けた活動強化 |
| 3.原発災害対策の組織的取り組み | (1)原発災害対策への組織的取り組み
(2)再生可能エネルギー問題への組織的取り組みの強化 |
| 4.漁協経営基盤安定化に向けた取り組みの強化 | (1)指導教育・監査業務の機能拡充
(2)漁協役職員の人材育成並びに組合員教育への側面的支援の強化
(3)次世代を担う青年部活動活性化への取り組み
(4)漁協経営改善の強化 |
| 5.漁業環境保全対策の強化 | (1)有害生物被害対策の更なる推進
(2)河川・海洋の環境汚染対策の強化 |

平成26年度事業計画

指導事業について

1. 漁政対策

本道漁業は、漁業者の減少・高齢化、漁船老朽化の進行等に加え、資源の回復に向けた取り組み等、生産段階での多くの課題を抱える一方、水産物貿易自由化問題・原発風評被害への対応等の外的諸課題も立ちはだかり、依然厳しい環境に直面している。

こうした中であつて、国は「攻めの農林水産業」を基本に、水産政策についても成長産業化方針を打ち出し、水産業・漁村の活力向上の実現に向けて重点的な施策を講じていく動きとなっている。

以上の情勢を踏まえ、本年度の漁政対策については、中期的視点に基づき「強い北海道漁業の確立」に向けた具体的な政策提言を行うとともに、重点推進課題の解決に向けて総力をあげ取り組みむものとする。

(1) 原発災害対策への浜と連携した組織的取り組み

- ① 汚染水海洋漏出阻止の実現に向けた運動展開
- ② 韓国輸入規制措置の早期打開に向けた取り組み
- ③ 風評被害の早期払拭を図るための取り組み
- ④ 風評被害補償措置の継続取り組み

(4) 水産物流通・加工・消費対策の強化に向けた取り組み

- ① 国の水産物流通促進事業の拡充強化に向けた取り組み
- ② 北海道の実態を踏まえた産地流通・加工対策支援制度の拡充に向けた取り組み
- ③ 水産物の輸出促進に向けたHACCP環境整備支援の継続、並びに輸出手続きの簡素化実現に向けた取り組み
- ④ 魚食復権のための食育支援制度の拡充に向けた取り組み(含む学校給食の普及拡大)

(5) 水産資源の持続的利用と資源に見合った操業体制の確立に向けた取り組み

- ① 資源回復・増大に向けた実効ある支援制度の実現ならびに資源量の動向把握に基づくTAC制度運用の見直し等の資源管理強化への取り組み
- ② 四者協議(国・道・沿岸・沖底)及び沿岸・沖底との全道・地域毎の各種漁業者実践協議会等の開催を通じた、資源に見合った操業体制確立に向けた協議促進
- ③ 資源管理協定による資源回復・管理施策への継続取り組み
- ④ 密漁防止対策事業の再構築および遊漁対策の強化

(6) 水産業・漁村の多面的機能発揮対策への取り組み

- ① 本道周辺海域の資源生産力の向上に向け

- ⑤ 漁協系統としての代替エネルギー転換など自然再生エネルギー導入に向けた取り組み検討
- ⑥ 原発のあり方に対する漁協系統としての組織的対応検討



福島原発事故損害賠償請求に係る説明会(昨年4月)

(2) 水産物貿易自由化問題への組織的取り組み

全漁連・水貿協等との連携によるTPP・EPA等の自由化の動きからの本道漁業への影響回避に向けた組織的対応

(3) 漁業経営基盤強化に向けた取り組み

- ① 関係行政・団体との連携による地域実情に見合った生産振興施策の拡充に向けた取り組み
- ② 総合的な漁業収入安定対策の充実強化
ア・資源管理・漁業経営安定対策の恒久

た藻場・干潟・森林の造成及び維持管理支援施策の拡充強化

- ② 漁村集落等の活性化など、自主的な地域活動に対する「漁村地域直接支払制度」の創設に向けた取り組み

(7) 災害対策支援施策強化への取り組み

- ① 激甚災害法の適用基準の緩和・対象範囲の拡大等の制度改善に向けた取り組み
- ② 低気圧被害等、局地災害に対する支援措置発動に向けた取り組み

(8) 規制改革の動向等を踏まえた取り組み

- ① 規制改革会議、産業競争力会議等の検討状況に対処した漁業への影響回避に向けた取り組み

2. 漁業環境保全対策

依然として後を絶たない本道周辺海域における海獣等による各種有害生物漁業被害防止に向けて、国の補助事業の有効活用により総合的な取り組みを継続する。

関係団体との連携により漁場環境・河川環境を向上させるための環境保全対策に取り組むとともに、普及拡大が検討されている自然再生可能エネルギー開発に対する漁業・環境影響の的確な情報収集と対応を行う。

化と収入安定対策の更なる充実強化に向けた取り組み

イ・燃油セーフティーネット構築事業における国の負担割合拡大および燃油高騰対策の継続実施に向けた取り組み
ウ・燃油税制の免税措置恒久化への取り組み

③ 「浜の活力再生プラン」に基づく各種関連施策の推進

④ 漁業後継者確保対策としての漁船・機械設備・生産施設等の新たな設備投資の支援制度の拡充に向けた取り組み

⑤ 新規漁業就業者支援事業の拡充強化への取り組み

⑥ 有害生物(トド・アザラシ・オットセイ等海獣、クラゲ類、ザラボヤ)の漁業被害対策事業の拡充強化及びヒトデによる漁業被害対策の創設への取り組み

⑦ トド等海獣による漁業被害からの抜本的救済に向けた漁業補償制度創設への取り組み



漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会(昨年5月)

(1) 有害生物漁業被害防止総合対策事業の推進

- ① 国の補助事業の有効活用による漁業被害防止対策事業の推進
- ② 漁業者ハンター養成の推進による駆除対策の強化

(2) 河川・漁場環境保全対策の継続強化 工事濁水・事業場排水関連

① 地区河川協議会等を通じた各種工事計画の全体事業構想把握のための総合的な協議の推進

② 地区パトロール等における河川・農業関連工事等の現場視察の継続実施による泥土砂・濁水流出防止対策の強化

【酪農系・農業系排水関連】

① 行政ならびに農業関係団体との全道レベルでの対策協議の継続推進

② 漁協と農業関係団体との協定ならびに行政による条例制定等を活用した家畜排泄物対策の強化

【廃棄物関連】

① 漁業系廃棄物・残渣の適正処理対策推進に対する支援および廃棄物リサイクルの有効活用に関する情報収集

② 海岸漂着物処理事業の活用による流木・漂着物対策支援の推進

【海洋環境関連】

① サハリン原油開発業者との定期協議・安全防災協議会等を通じた油流出事故未然

今月の家族物語



【佐藤さんご一家】 佐藤 仁さん(42歳)、美穂子さん(39歳)、春菜さん(16歳)、一希さん(14歳)夏美さん(11歳)

※仁さんのお父様正幸さんと一緒に

「浜の家族物語」は、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、寿都町漁協の佐藤さんご一家です。

状況の変化に応じて試行錯誤

「漁師は自然相手に先がよめないところがおもしろい。」という仁さんは、小さい頃から漁師になろうと思っていた。小学生の頃から毎朝いか網を引きに行き、函館水産高校を卒業後、実家で父と一緒に船に乗るようになりました。自分で仕立て手のかけた網に魚が乗ってくるのが楽しいと教えてくれました。今は、4月から11月まで定置網漁と底建て網漁、1年を通じて牡蠣とほたての養殖をしています。

寿都湾内で養殖するブランド牡蠣「寿牡蠣」は、冬の日本海の厳しい時化により牡蠣が海に落ちてしまうこともしばしば。安定した養殖を実現するため、部会で試作を重ね、籠に入れて吊るすことにしたそうです。

「漁師の仕事には『終わり』はない。」と話す仁さん。自然相手の漁師の仕事は、毎年決まったことでも、状況の変化に応じて次の一手を常に考え、試行錯誤していくことが大切だと教えてくれました。

ますます賑やかになる佐藤さんご一家

地元寿都町内出身の美穂さんは「新鮮で種類が豊富な魚を食べられる環境が良いですね」と話します。高校2年生の長女春菜さんは、下宿しながら小樽の高校に通っています。小学校の5年間は野球、中学校3年間はサッカーに打ち込みました。長男の一希さんは中学2年生。野球部でキャプテンを務めながら、学校と部活が休みの日には5時に起きて身支度を整え、沖に網を引きに行きます。将来は水産高校に進学し、漁師を目指したいそうです。次女の夏美さんは小学5年生。自ら進んで始めた少年野球ではキャプテンを務めています。

長女の春菜さんは将来調理師の免許をとって地元に戻ってきたいとのこと。仁さんは「牡蠣の生産を安定させて、家族みんなで直売店で売ったり、料理を出したり出来たらいいね。」と話します。佐藤さんご一家は、3人の子どもの成長とともにますます賑やかになっていきます。



お魚殖やす植樹運動

- 防止対策の推進及びタンカー等の船舶航行における安全確保要請
- ② 油流出事故対応方法の整備・統および防除体制の整備と油濁事故対応訓練の実施
- ③ 洋上風力発電等の自然再生可能エネルギー開発に伴う環境・漁業影響に関する情報収集と対応

(3) 森・川・海のつながりを活かした森林環境保全対策の推進

- ① お魚殖やす植樹運動・保育活動の継続推進および木育マイスター(※)等を活用した支援体制の強化
- ② 国民に向けた植樹の意義を啓発する普及活動の推進
- ※木育マイスター…北海道が認定する「木育(子供をはじめとする全ての人が木とふれあい、木に学び、木と生きる取組)」を普及させる専門家のこと。平成22年度から育成研修を実施し、平成25年度末時点で133名が認定されている。

3. 指導・教育事業

厳しい漁業・漁協経営環境下、浜の砦である漁協に生産者の組織力を結集し、諸課題の解決と経営基盤の強化につなげていく必要がある。あわせて、漁協役職員を始めとする指導者の高度人材育成を通じて、協同組合意識の更なる浸透を図るとともに、漁協の運営適正化と経営安定化・健全化に向けた取り組みを継続する。

(1) 漁協経営改善指導の継続推進

- ① 漁協経営強化推進本部を通じた早期経営改善が必要な漁協に対する重点的指導・支援の継続推進
- ② 経営安定化に向けて、中期計画策定漁協に対する策定促進のための相談機能等の充実

(2) 漁協の運営適正化に向けた指導監査の充実と重点的指導

- ① JF全国監査機構による指導監査並びに改善指導の継続強化
- ② 実効性ある内部けん制機能の確立に向けた重点的指導の実施

(3) 教育研修活動の充実

- ① 全道漁協教育研修計画(平成25年度〜27年度)に基づく役職員研修の充実
- ② 不祥事絶滅に向けたコンプライアンス研修の充実・強化

(4) 人材育成対策

- ① 浜の将来を担う漁協青年部への活動支援と組織育成
- ② 全道協力組織(漁業士会、職員協議会等)の事業活動を通じたリーダー育成
- ③ 漁協における協同組合運動の啓発活動促進のための支援(啓発資料の提供、講師派遣等)



道漁青連による食育活動「漁師さんの出前授業」

(5) 本会指導教育部門の機能強化

- ① 相談機能充実のための全道各地区指導体制の強化
- ② 指導部門情報、ホームページの内容充実による浜への情報伝達体制の強化



独特の語り口と軽妙な話が好評でした

プロの経営者として結果を出すには

難しい時代を迎えている昨今ですが、この荒波を乗り越え企業を発展させるためには組織を構成する社員の想像力が欠かせません。みんなが知恵を出し合い、経営者がそのアイデアを汲み上げて実行していった先に成功があるので。また経営者は、プロであるべきです。プロは結果がすべてです。長期的視点や、全体を見渡す視野を持ちながら、結果を残していつてほしいと思います。まずは今日から意識を変えてみませんか。

「明るく、元気に、前向きに、今やる、頭を使ってやる、そして必ずやる！」

しょう。その人の弱点は後からでも補えますし、他の人がカバーできるかもしれません。鉄は熱いうちに打て、ではありませんが、まずは長所を最大限に発揮させてやるのが経営者の責務です。

まちづくりは自分たちの問題解決です

地域に課題がある時、行政は有名なコンサルタントの先生などと呼んできて、地元の住民不在のままの議論で解決を図ることがあります。結果、課題は解決されず、むしろ悪化することさえあります。まちづくりは地域の住民が自ら考え、自分に何が出来るかを考えて行うべきです。その上で、手伝ってほしいことは何かを明らかにして専門家の力を借りればよいのです。主体はあくまでも自分たち。まちづくりは自分

山崎さんは、地域の課題をそこに住む人たちが自ら解決するためのコミュニティデザインに携わっています。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくりなどに積極的に参画しています。現在、大学生が「ふるさとを元気にする仕事」について学ぶ、全国初の「コミュニティデザイン学科」の設立に携わっています。学生たちに実践を通じてコミュニティデザインの手法を学ぶことができる場を提供するために奔走しています。



studio-L代表
京都造形芸術大学 教授
慶應義塾大学 特別招聘教授
山崎 亮さん

「人がつながるしくみをつくる」

基調講演②



講演に耳を傾ける参加者の皆さん

私たちの問題を解決することなのです。

「つとめ」から始まるまちづくり

まちづくりは遠回りしなくても辿り着ける、身近なところにある幸福です。大きな夢をみんなで共有して、楽しく、思いついたらすぐにでもやってみればよいのです。きっと多くの人たちが幸せになれるはずです。

昔は「稼ごとつとめ」という考え方がありました。生活のための「稼ぎ」と別に、自分の町のことは自分たちでやろう、他の人のためにやろうという「つとめ」というものがありました。今でこそ、行政にやってもらって当たり前という感じですが、行政には限界があります。一人一人が「つとめ」の気持ちで、地域ぐるみで助け合い「まちづくり」をしてみることが大切です。

平成25年度 全道漁協トップセミナー



3月7日(金)に札幌市にある第2水産ビル大会議室にて、ぎよれんと信漁連が共催して、平成25年度全道漁協トップセミナーを開催しました。全道の漁協組合長や専務・参事など140名が出席し、2つの講演を通じ、人を育て、組織を良い方向へと導く人材育成の方法や、人とのつながりを活かして地域を活性化させる方法について学びました。

基調講演①

「人を創り、人を活かし、人に任す」という組織経営



タカラ物流システム(株)
タカラ長運(株) 代表取締役会長
大谷 将夫さん

大谷さんは、1940年京都府生まれの73歳。59年に宝酒造(株)に入社し、営業畑で活躍。2000年にタカラ物流システム(株)の初代社長に就任しました。06年には10年間赤字続きで倒産寸前の長崎長運(株)を買収し、社長を兼務。「人を創り、人を活かし、人に任す」大谷流経営法でわずか8か月で売り上げ52億円、利益1億円の黒字化へ見事再建を果たしました。

人が組織を変える

私が再建した運送業の長崎長運(株)は赤字続きで、会社のみならず働いている人同士も悪い雰

囲気でした。社長に就任して3ヶ月が勝負だと思って取り組みました。300人の従業員みんなが7割しか力を発揮しなければ、210人雇っているのと同じです。逆に300人全員が1.2倍の力を出せば、360人雇っているのと同じなのです。社員の意識を変えさせて、意欲的に働いてもらえるようにすることが組織を変えるポイントです。

経営の考え方はシンプルに

私が考える経営の基本は合理主義と人間です。合理主義は、「選択と集中」です。必要なところには惜しみなく投資をすべきです。そして必要無いところは極限までコストをカットすべきです。人はほとんど雇うべきです。

雇うべき人は、一般的な高学歴で頭がいい人ではありません。知識ではなく、知恵を出してアイデアを行動として実現できる人を雇うべきなのです。

その人のいいところを伸ばしましょう

コミュニケーションが悪い会社は、近い将来も生き残っていけるかわかりません。経営者は、上司と部下、同僚同士のコミュニケーションが良くなるように配慮すべきです。その上で、社員それぞれの、まずは良いところを伸ばしまし

一番だしと昆布を学ぶセミナーを開催

貫田シェフ直伝のだしの活用術が公開されました

01

2月27日(木)、札幌市の東京ドームホテル札幌で、北海道こんぶ消費拡大協議会とぎょれんの主催、一般社団法人日本鯉節協会と社団法人全国削節工業協会、オントナの協力で、一番だしと昆布を学ぶセミナー「おいしい食卓は“だし”が決め手」を開催しました。会場には応募総数800名から選ばれた56名が参加し、フードディレクターの貫田桂一シェフから一番だしと昆布の種類、昆布の魅力について学びました。

第1部では、「貫田流一番だしの取り方」をデモンストレーション。貫田シェフは、「水1Lあたり昆布20g、鯉節30g程度、温度と時間をかけるのがおいしさの秘訣です。」と話し、昆布を30分かけて75℃まで加熱。そのまま75℃で30分煮出した後、お湯が煮立つ直前に昆布を取り出し、鯉節を入れ、ひと煮立ちしたらすぐ火を止めるという方法を披露しました。

第2部では、実際にだしを使った料理を参加者が試食。だしの有り無しを比較するお好み焼きの試食のほか、「だしは西洋料理とも相性がいい。」という貫田シェフ考案のグラタンの試食が行われ、参加者からは「洋食におだしが合うなんて思いませんでした。」と驚きの声も聞かれました。セミナーに続くランチでは、参加者の皆さんに貫田シェフのレシピによる「一番だしと道産食材を使った特別ランチ」を味わっていただき、だしの素晴らしさについて、より一層の理解を深めてもらいました。



貫田流一番だしの取り方をわかりやすく解説してくれました



セミナーの様子は、北海道新聞札幌近郊版に折り込まれるフリーペーパー「オントナ」でも詳しく伝えられました

小樽地区三連合同研修大会を開催

今年から変わった「クイズ de 研修」が皆さんに好評でした

02

3月4日(火)、グランドパーク小樽において、小樽地区漁協JF共済・購販・マリンバンク推進委員合同研修大会が開催され、管内の推進委員約60名が参加しました。

大会では、各事業推進に尽力された委員が紹介された後、元鹿児島県漁連職員で、現在はフードマネジメントサービス(株)代表取締役の坂本文男さんが「水産物流通の現状と消費拡大に向けた取り組み」と題して講演しました。数十年の漁連職員生活で販売一筋だったという坂本さんは長年培ってきた経験を踏まえて、「もっと産地から発信してみよう」、「浜料理を消費者にPRしよう。食べ方をわかってもらうことが近道です」、「浜の名前をもっと前面に押し出せば、必ずプラスになります」など、参加した皆さんにそのノウハウを伝授しました。

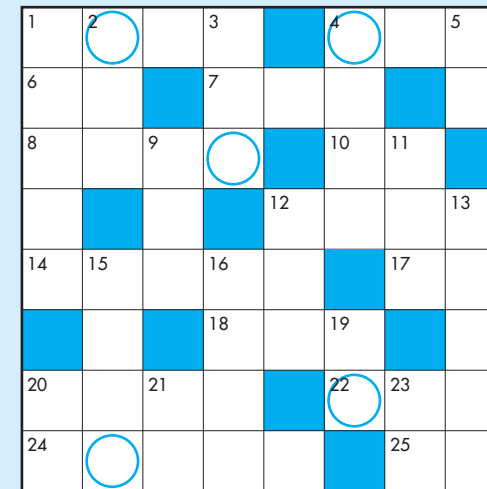
毎年恒例の地区大会名物「クイズde研修」は今年から趣向を変え、系統各連から話題提供した内容から出題。参加者の皆さんからは、「クイズに出ると思うとより頭に入ってくる」や「聞いたことを復習できるからためになる」と例年以上に好評。研修を終えたあとは、懇親会で漁協を越えて皆さんが親睦を深め、充実した大会となりました。



趣向を変えた「クイズde研修」で理解を深める参加者の皆さん

クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。私が子どもの頃は、「男の子は黒、女の子は赤」というのが主流でしたが、最近はピンク、茶、紺、緑、青などカラフルな色も増えているそうです。通学路も華やいているのですね。



○印に当たる言葉を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

3月号の解答と当選者									
ヒ	ヨ	ウ	サ	ツ	ア	マ			
カ	マ	イ	ダ	ス	イ				
リ	ク	セ	テ	イル					
マ	リ	ン	バ	シ					
マ	ソ	ス	キ	ヤ	キ				
ス	バ	ツ	シ	ン					
カ	ト	ウ	キ	ヨ	ウ	ト			
ラム	チ	ヨ	ウ	ウ					

(厚 岸 町) 久保田健将さん
(別 海 町) 竹田美知子さん
(伊 達 市) 西川 洋子さん
(函 館 市) 奥ヶ谷順子さん
(礼 文 町) 赤坂 正伸さん

タテのカギ

- ① 1本足で立つのが得意なピンクの鳥
- ② ビー玉で栓をした炭酸飲料
- ③ ○○○アップは能力や技能を高めること
- ④ 教師や医者をこう呼びます
- ⑤ 書道のインク
- ⑥ 海水浴で命を守る「○○○セーバー」
- ⑦ 着物=
- ⑧ 安売りを英語で言うと?
- ⑨ ショパンやモーツァルトは、○○○○○音楽の作曲家
- ⑩ 電話に録音されたメッセージ
- ⑪ 大事にしている車やバイク
- ⑫ 物の端のところが突き出た部分
- ⑬ 周りがみんな敵「四面○○」
- ⑭ 「豊水」や「幸水」はコレの種類
- ⑮ かまぼこのベッド

ヨコのカギ

- ① マカロンを生んだ国
- ② 落語や日本舞踊に欠かせない小道具といえば?
- ③ 子羊の肉
- ④ 首が長い動物といえば?
- ⑤ ペットボトルに入った水「○○○○ウォーター」
- ⑥ おせっかいな人はコレが好き
- ⑦ ユニフォーム=
- ⑧ 宮里藍の職業は「プロ○○○○○」
- ⑨ 鎌○○・○○敷・小○○
- ⑩ 海に生息するほ乳類で、4m以下のクジラのこと
- ⑪ ノースリーブ
- ⑫ 首都はベルリン
- ⑬ 激しく怒りだすこと。○○○○○玉
- ⑭ 住○○・洗○○・支○○

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なるところがあります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

協同の力でコスト削減

系統ブランド資材紹介コーナー

良質で安い資材を浜に提供することを目的に、ぎょれんが自ら企画・開発をしている資材が「系統ブランド資材」です。

なみまるくんでは、皆様に「系統ブランド資材」の個々の商品特長をもっと知っていただくため、毎月1つの商品を詳しくご紹介しています。ぜひ、資材購入の検討に、お役立てください。

今月は

腰楽スーツ「タスカル」をご紹介します！

背中のアシスト材の復元力により、前かがみ姿勢での作業が楽になります。

アシストカ

昆布干し作業などの際に腰にかかる負担を軽減するスーツです。

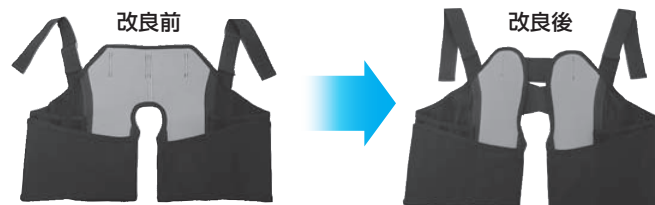
昨年の発売開始以来、昆布産産地区を中心に、全道で約320着をご購入いただきました！

現在、取りまとめを行っております。ぜひこの機会にご検討ください！

取りまとめ価格 **¥15,800** (消費税別)

◎基本サイズ：S・M・Lの3種類 ◎色：グレー

でん部パッドの亀裂防止のため、パッドの形状を改良し、足を大きく開いたり、しゃがんだ時の動きがスムーズになりました。



実際に着用された方の評価はこちらです

- 昆布干しの砂ひき作業を、これまで途中で休みながら行っていたが、スーツを着ると休まず作業が出来た。(釧路市東部漁協)
- 腰が悪く、これまでシーズン中は3～4回病院に通っていたが、今年は通院しなくても大丈夫だった。(えりも漁協)
- スーツを着てから、昆布採り・干し作業が楽で、腰の調子も悪くならない。他の生産者にも勧めたい。(浜中漁協)
- 昆布干しの砂ひき作業で着用。腰の負担が軽くなり、次の日の朝も楽。(厚岸漁協)
- 前年に腰の靭帯の手術をしたが、このスーツを着たおかげで今年の昆布漁ができ、非常に評価している。(歯舞漁協)

腰に不安を抱える方に
高評価をいただきました！

ご注文・お問い合わせは、漁協購買部へおねがいたします。

全道漁協購買事業推進会議が開催されました



会議に参加した全道漁協購買担当者の皆さん(写真左)。会議では資材プレゼンテーションも行われました(写真右)。

3月14日(金)、札幌グランドホテルにて、全道の漁協購買担当者とぎょれん、購買関連会社が参加し、「平成25年度全道漁協購買事業推進会議」が開催されました。

ぎょれん西副会長より、「ぎょれんの中期的事業推進方向」(本誌2ページにて特集)の説明を交えた開会挨拶があったのち、ぎょれん購買部より「購買事業の中期的事業方針と平成26年度事業方針」の説明や資材のプレゼンテーション、講演等が行われました。

〈ぎょれん購買事業 中期的事業方針と平成26年度事業方針の主な内容〉

1. 系統燃油事業への更なる強化

(1) 適正価格による安定供給に向けた取り組みの継続

政府主導の円安政策などにより、燃油価格は、当面現在の高い状況が続く見込みです。系統利用率の更なる向上により、仕入力並びに価格牽制力の強化を図ります。

(2) 中期的視野に立った計画的な共有タンク再編整備

共有タンクの老朽化が進行しています。全道の共有タンクを持つ漁協と中長期的な「施設の在り方」を協議し、10月末を目処に「全道燃油施設再整備計画」をまとめる予定です。また、老朽化した施設の維持には、正しい施設管理知識が必要です。「燃油管理保安監督者研修会」の開催や「自主点検」の取り組みを継続します。

2. 営漁コストの削減に向けた取り組み強化

(1) 生産体制の見直しによる良質廉価な系統ブランド資材の開発強化

石油化学原料の価格上昇に伴い、漁業資材の製品価格が上昇しています。良質廉価な資材をこれからも供給するため、ほたて養殖籠の製造を中国からベトナムにシフトするなど、資材開発の強化を図っています。

(2) ぎょれんマリノサポート(株)と連携した系統ブランド資材の組織的営業活動の強化

①各種部会への積極的参加、②展示即売会の開催、③資材取りまとめの実施、④全道漁協購買担当者海外視察研修の実施などを通じて、営業活動を強化します。

(3) 系統ブランド資材評価委員会などによる浜との連携強化

委員会活動をより一層活発化させるため、対象品目単位での開催や部会への積極的参加などを通じ、開催回数を増やしていきます。



購買事業方針を説明した
購買部 阿部部長

講演：「ダンボールの作り方」



講演した田代英司さん

王子コンテナ(株)CS推進部放送技術主幹の田代英司さんより、ダンボールの製造工程を詳しく紹介する講演がありました。鮮魚の輸送が可能な機能性段ボールの紹介等も行われました。



編集部からのお知らせ

皆様からの便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿(お便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん4月号への感想・ご意見など
- ②12ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉4月18日までにお送りください。

(郵便) 〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 総務企画部 広報担当
(FAX) 011(242)3543
(電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介しします。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

12ページの間違ひさがしの答え



編集後記

今月の特集では、ぎょれんのこれから先3か年の方向性を示した「中期的事業推進方向」と「新年度の事業計画」をご紹介します。この計画を作るにあたっては、ぎょれんの役職員皆が参加し、本道漁業を取り巻く環境の分析や、ぎょれんの組織としての強み・弱みを出し合い、浜のために為すべきことをまとめ上げていきました。今の世の中は変化が大きく課題が複雑化していますが、先ずはしっかりとした指針が大切であることを、策定の作業を通じて改めて感じました。(工藤)

4月の人事異動により、編集部を離れることになりました。2010年8月号(262号)から2014年4月号(305号)までの44号の広報なみまるくんを無事に発行することが出来、取材させていただいた浜の皆様とご協力いただいた関係者の皆様、そしていつも応援してくださった読者の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。今後は、この3年9ヶ月間に学んできたことを活かして、浜により近いところで引き続き頑張ります。これからも広報なみまるくんをよろしく願います。(櫻田)

なみまるくんが届くと、「あー1ヶ月たったんだなあ」と、早いものでもう3月です。今年も定置網などにかく前浜の漁がいっぱいあることを願っています。

(森町 松田 かすみさん 46歳)

寒暖の差が激しいですね。早く暖かくなってほしいです。

(根室市 高屋敷 実香さん)

にしん漁も後半に入りました。浜はにしんが群来のを待っています。

(小樽市 宮古 知行さん)

みなさんのお便りでつくる ページです。 なみまる おたより箱



3月は受験、ひな祭り、卒業式などなど行事が目白押しです。あつという間に3月は通り過ぎていきます。

(根室市 根室のイカ子さん)

今年も暴風雪警報が出た中、昨年のように亡くなられた方が出していないことは本当に安心しました。とにかく自然の力がすごい事を実感します。

(別海町 浜の母さん)

3月に入ってもまだ寒い日が続いていますね。

(函館市 奥ヶ谷 順子さん 70歳)

毎日寒中、父や母は牡蠣の仕事を頑張っています。

(厚岸町 久保田 健将さん 11歳)

いつまでも寒しい、雪は降るし。でも少しずつ雪解けが早い。春が近づいてきているのか。

(函館市 佐藤 芳雄さん 76歳)

真龍小学校で、「6年生を送る会(6送会)」がありました。6年生の私は、「桜の葉」のピアノ伴奏をしました。小学校生活、最後の6送会で、失敗しないで歌とのスピードも合って、キレイに弾きました。先生に褒められて、嬉しかったです。

(厚岸町 小島 史香さん 12歳)

3月なのに寒いんですね。孫のところに遊びに行ったら、お雛様が飾ってありました。1歳の孫が指さして、「あつた。」だって。成長が早いんですね。早く暖かくなって外で遊べるといいですね。

(福島町 松村 寿美子さん 54歳)

いかに魚がまだ始まっていないので、早く始まって早くいかに食べたいです。

(泊村 小林 天馬さん 9歳)

今年ようやく息子が大学を卒業し、社会人となります。胸がワクワクします。

(奥尻町 川瀬 弘樹さん)

今月の1枚



タイトル: いづみ、出漁!
(興部町 坂本 翔さん 20歳)

いつもなみまるくんの表紙の、家族の皆さんの笑顔に癒されます。そっくりなご家族が多いですよ。

(札幌市 玉置 伊織さん 26歳)

大漁祈願!

news 浜のほつとニュース

小樽

3月7日に岩内で行われた小樽地区漁青連大会では、ここ数年で最も多い73名が出席し、盛大に催されました。管内の水揚げは、終盤を迎えたにしん漁が昨年の半分ほどの水揚げに留まり、群来の報告も僅かでした。各地ではかれい類やほつて等の多様な魚種が水揚げされるようになり、ほたて稚貝の出荷準備も始まるなど、小樽の春の訪れを感じてます。

室蘭

今シーズンの管内助宗刺網が3月20日で終漁しました。水揚げは振るわなかったものの、浜値は輸出環境が良かった為、高値で終漁しました。また、3月1日からはえび籠漁が始まり、えび籠で獲れる柳たこはアフリカたこの減産によって、k@500台の高値でスタートしました。管内養殖ほたても終盤を迎えています。生産者の皆様の安全操業・豊漁を祈願します。

根室

2月末時点で、根室湾中部漁協の氷下待ち網漁の総水揚げが数量、金額ともに前年を上回りました。前年比で、にしんが4倍増、わかさが2倍増の水揚げとなっています。また、野付・標津漁協のほたて漁は、流氷や時化の影響により出漁できる日が限られておりますが、今後の順調な操業に期待がかかります。

留萌

休漁していたえび籠漁が3月から再開しました。なんばんえびを主体に3月19日には管内で約2,800ケースの水揚げがありました。3月下旬からはいよいよほたて稚貝の出荷が始まります。今年は各浜の稚貝の生育も順調で、オホーツク地区への出荷が待ち遠しいばかりです。これからかれい漁も本格化します。風が続き、順調な出荷と、豊漁となるよう願っています。

函館

噴火湾ほたて漁が最盛期となりました。昨年に比べて中国向け両貝製造が遅れていましたが、ここにきて製造が本格化し、これにより浜値も上昇しています。貝毒事故等のない安全・安心な流通の継続が重要となっています。

釧路

3月は時化が多く、いずれの魚種でも休漁が目立ちました。東部地区の毛がに漁も水揚げが低調気味ではありますが、単価は回復傾向にあります。4月からは各地でつづの水揚げが本格化します。中旬には春鮭鱒漁の水揚げも開始予定です。釧路の春漁は開始目前、良い風を期待し引き続きの安全操業を願っています。

稚内

3月15日からオホーツク海側で毛がに籠漁が始まりました。ここ数日間は、昨年並みの水揚げとなっており、今後も順調に水揚げされることを期待しています。日本海側地区では、なまこ漁が本格的にスタートしました。価格は前年と比べ安値での開始となっています。春を迎え浜は活気づいておりますが、安全操業と豊漁を願っています。

梶山

今冬の釣り助宗漁は1,114トンで終了し、前年の3,019トンに比べ大幅に減少しました。販売にかかわる環境は、韓国向けの輸出停滞などで苦戦が続いています。その影響により、平均単価は、大幅な減産にもかかわらず1キロあたり165円(前年は163円)とほぼ横バイに終わりました。輸出版売の回復が課題となっています。

日高

3月に入り、各地でつづ籠漁、えび籠漁が解禁となりました。今後の水揚げ増に期待がかかります。毛つづの水揚げは昨年を下回っているものの、加工原料としての引き合いが強く、浜値が上がっています。浜からはここまでの高値は記憶にないとの声も聞かれます。日が長くなり、春がすぐそこまで来ておりますが、安全操業と大漁を願っています。

北見

3月に入りオホーツク海側も徐々に春めいてきており、本格的な海明けを迎えようとしています。底曳網漁、ほたての漁場造成、毛がに漁がスタートし、今後は刺網漁でにしん、かれい類等の水揚げが本格化し、浜は益々賑わいを見せていきます。忙しさが増していきますが、これからも安全操業と大漁を心より祈願します。

今一度 確認しよう ライフジャケット

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

手軽でおもてなしにも最適! 炊飯器で作れる時短レシピ

鮭 寿司

 浜のおかあさん
レシピ


今回は秋鮭を使った「鮭寿司」をご紹介します。「魚の切り身を1度焼いてから使うと手間もかかるし…」というあなたにピッタリ。今日は、秋鮭の切り身とお米と一緒に入れて、炊飯器をスイッチオン!簡単に作れる時短レシピです。覚えておくと、急なおもてなしにも役立ちますよ。

材料 (4人分)

- ・秋鮭 (切り身) …3切れ
- ・米…3合
- ・昆布…5cm
- ・水…300cc程度
- ・大葉…10枚
- ・白ごま…大さじ2
- ・飾り用いくら…適量

- ・酢…大さじ4
- ①・砂糖…大さじ4
- ・塩…小さじ1

作り方

- ① 米は洗ってザルにあげ、水を切る。30分ほど置いたら釜に研いだお米と水300ccを入れ、上に昆布をのせて30分置く。
- ② Aの調味料を混ぜ合わせ、①に入れる。釜の3合炊きの目盛りまで水を加え、上に秋鮭の切り身をのせて炊飯スタート。
- ③ 大葉を千切りにする。
- ④ 炊き上がったら、秋鮭と昆布を取り出し、秋鮭は小骨を取り除きながら粗めにほぐす。
- ⑤ ほぐした身を④のご飯と混ぜ合わせ少し蒸らす。
- ⑥ 皿に盛り付け、③の大葉と白ごまを散らし、いくらを飾って出来上がり。



湧別漁協

古谷 智子さん